

7月に入り、新しい友達がまた1人増え、昭和幼稚園の園児は60人になりました。

多様な個性が触れ合うことで興味・関心の幅が広がり、友達と遊びを共有し、“いっしょに楽しむ”様々な姿が見られます。年少・年中・年長、どの保育室にも子どもたちの活気が満ち溢れています。もうすぐ1学期が終わろうとしています。年少・年中・年長、それぞれの学年における育ちの基盤が固まりつつあることを実感しています。

ひよこ組



スカートを身に付け、ポンポンやマイクを手に、ステージで大好きな踊りや歌を披露する子どもたち。お客さんになって声援を送る子どもたちもいます。“ごっこ遊び”の役割を通して、友達とのより良い関わり方を学んでいます。憧れの青組さんのように登り棒に挑戦。水深を浅くしたプールでの水遊びデビュー。とってもたくましくなってきました。

さくら組



ブロックなどの玩具や、空き箱などの素材を使って、思い思いに“製作遊び”を楽しんでいます。友達との話から、イメージを膨らめ、創ることがとても楽しそうです。プールでは列車のようにつながったり、音楽に合わせて動物に変身したり、友達と“いっしょに”に同じ動きを演じることが面白くなってきました。目的をもって遊んでいます。

青組



市のアートプロジェクトとして、スタジオパセリの芦澤先生のご指導を受け、コラージュで犬の人形作りを楽しみました。これから保育室で育てていきます。豊かな発想をもつ青組の子どもたちが、「あおくん」と共にどのような遊びを工夫していくのか、とても楽しみです。年長さんとしてプール掃除にも取り組みました。その後の遊びはダイナミック！